

令和2年度学校法人福岡大学収支予算

《令和2年度予算の重点施策》

- (1) 教育体制の整備・充実 (2) 研究体制の整備・充実 (3) 医療体制の整備・充実
 (4) 社会貢献および地域連携の整備・充実 (5) 経営基盤の強化

1. 令和2年度事業活動収支予算 (予算規模813億円)

(単位: 千円)

No.	科目	2年度予算額	元年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金	27,890,957	27,293,056	597,901
2	手数料	1,472,622	1,473,805	△ 1,183
3	寄付金	913,666	958,075	△ 44,409
4	経常費等補助金	5,448,618	5,242,697	205,921
5	付随事業収入	1,226,671	1,168,454	58,217
6	医療収入	41,717,156	40,721,902	995,254
7	雑収入	1,397,395	1,725,976	△ 328,581
8	教育活動収入計	80,067,085	78,583,965	1,483,120
9	人件費	41,730,462	42,083,607	△ 353,145
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(1,955,479)	(2,477,073)	(△521,594)
11	教育研究経費	34,235,043	33,135,948	1,099,095
12	(うち減価償却額)	(5,670,971)	(6,329,185)	(△658,214)
13	管理経費	3,626,366	3,709,379	△ 83,013
14	(うち減価償却額)	(381,059)	(421,584)	(△40,525)
15	教育活動支出計	79,591,871	78,928,934	662,937
16	教育活動収支差額(8-15)	475,214	△ 344,969	820,183
17	教育活動外収入	865,172	912,598	△ 47,426
18	受取利息・配当金	50,000	46,000	4,000
19	その他の教育活動外収入	915,172	958,598	△ 43,426
20	教育活動外収入計	865,172	912,598	△ 47,426
21	借入金等利息	113,302	141,690	△ 28,388
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	113,302	141,690	△ 28,388
24	教育活動外収支差額(19-22)	801,870	816,908	△ 15,038
25	経常収支差額(16+23)	1,277,084	471,939	805,145
26	特別収入	0	0	0
27	資産売却差額	278,819	127,690	151,129
28	その他の特別収入	278,819	127,690	151,129
29	特別収入計	278,819	127,690	151,129
30	特別支出	0	0	0
31	特別支出計	0	0	0
32	特別収支差額(27-30)	278,819	127,690	151,129
33	[予備費]	505,999	498,573	7,426
34	基本金組入前当年度収支差額(24+31-32)	1,049,904	101,056	948,848
35	基本金組入額合計	△ 8,391,612	△ 3,139,865	△ 5,251,747
36	当年度収支差額(33+34)	△ 7,341,708	△ 3,038,809	△ 4,302,899
37	前年度繰越収支差額	△ 23,837,528	△ 22,552,194	△ 1,285,334
38	翌年度繰越収支差額(35+36)	△ 31,179,236	△ 25,591,003	△ 5,588,233
39	事業活動収入計(8+19+27)	81,261,076	79,670,253	1,590,823
40	事業活動支出計(15+22+30+32)	80,211,172	79,569,197	641,975

経常的な収支のうち、**本業の教育活動の収支**を見ることができ、2年度は4億7,500万円の収入超過となる見込み。元年度より学生生徒等納付金が5億9,800万円、医療収入が9億9,500万円増加、教育研究経費が10億9,900万円増加。

経常的な**収支バランス**を見ることができ、2年度は12億7,700万円の収入超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の**臨時的な収支**を見ることができ、2年度は2億7,900万円の収入超過となる見込み。元年度より教育装置に係る補助金の増加に伴い1億5,100万円増加。

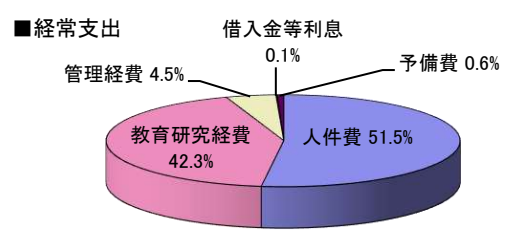
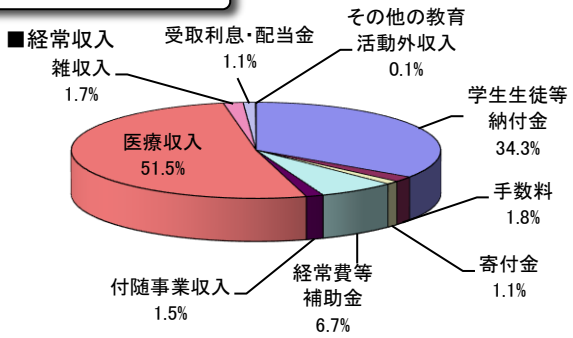
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。元年度より52億5,200万円増加。

経常的な収支のうち、**財務活動の収支**を見ることができ、2年度は8億200万円の収入超過となる見込み。

毎年度の**収支バランス**を見ることができ、従来の帰属収支差額である。2年度は10億5,000万円の収入超過となる見込み。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものの。2年度は73億4,200万円の支出超過となる見込み。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

【事業活動収支予算の概要】

・ 従来の帰属収支差額に相当するNo. 33基本金組入前当年度収支差額 (No. 38事業活動収入-No. 39事業活動支出) は、10億5,000万円の収入超過を見込んでおり、従来の帰属収支差額比率に相当する事業活動収支差額比率 (No. 33基本金組入前当年度収支差額÷No. 38事業活動収入) は、1.3%となっています。

・ 人件費比率 (No. 9人件費÷経常収入 [No. 8教育活動収入+No. 19教育活動外収入]) は、51.5%となり、前年度予算より1.4ポイント低くなっています。

2. 令和2年度資金収支予算 (予算規模1,191億円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院、博多駅クリニックの医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した額

(単位:千円)

収入の部				
No.	科目	2年度予算額	元年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金収入	27,890,957	27,293,056	597,901
2	手数料収入	1,472,623	1,473,805	△ 1,182
3	寄付金収入	974,053	1,005,635	△ 31,582
4	補助金収入	5,667,050	5,322,827	344,223
5	付随事業・収益事業収入	1,276,671	1,214,454	62,217
6	医療収入	41,717,156	40,721,902	995,254
7	受取利息・配当金収入	865,172	912,598	△ 47,426
8	雑収入	1,397,395	1,725,976	△ 328,581
9	前受金収入	5,274,697	5,325,451	△ 50,754
10	その他の収入	30,308,678	29,205,149	1,103,529
11	資金収入調整勘定	△ 13,746,783	△ 13,718,121	△ 28,662
12	収入計	103,097,669	100,482,732	2,614,937
13	前年度繰越支払資金	16,012,460	14,840,234	1,172,226
14	収入の部合計	119,110,129	115,322,966	3,787,163

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。

(単位:千円)

支出の部				
No.	科目	2年度予算額	元年度予算額	差異
15	人件費支出	41,649,723	42,010,720	△ 360,997
16	教育研究経費支出	28,564,072	26,806,763	1,757,309
17	管理経費支出	3,245,307	3,287,795	△ 42,488
18	借入金等利息支出	113,302	141,690	△ 28,388
19	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
20	施設関係支出	4,787,696	4,682,913	104,783
21	設備関係支出	4,301,098	2,725,959	1,575,139
22	資産運用支出	4,107,032	6,529,554	△ 2,422,522
23	その他の支出	20,153,104	18,805,386	1,347,718
24	予備費	508,235	501,235	7,000
25	資金支出調整勘定	△ 6,921,454	△ 6,426,561	△ 494,893
26	支出計	101,076,265	99,633,604	1,442,661
27	翌年度繰越支払資金	18,033,864	15,689,362	2,344,502
28	支出の部合計	119,110,129	115,322,966	3,787,163

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

【資金収支予算の概要】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》		《支出の部》	
No. 1	学生生徒等納付金収入 ↑ 大学の授業料等の値上げおよび若葉高等学校の予算学生数の増加。	No. 16	教育研究経費支出 ↑ 学内情報システム更新に伴う消耗品費支出・支払手数料支出の増加および福岡大学病院・筑紫病院の医療経費支出の増加。
No. 4	補助金収入 ↑ 私立学校施設整備費補助金および福岡県経常費補助金の増加。	No. 21	設備関係支出 ↑ 学内情報システムおよび福岡大学病院の第2リニアック装置更新に伴う機械器具支出の増加。
No. 6	医療収入 ↑ 福岡大学病院の入院・外来患者数および筑紫病院の入院・外来診療単価の増加。	No. 22	資産運用支出 ↓ 各種特定資産への繰り入れ支出の減少。
No. 10	その他の収入 ↑ 各種特定資産からの取崩収入の増加。	No. 23	その他の支出 ↑ 前期末未払金支出の増加。

[資金収支規模と翌年度繰越支払資金]

- ・資金収支予算の合計は1,191億円で、前年度予算より38億円の増加となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は180億円で、前年度予算より23億円の増加となっています。

《令和2年度予算の特徴》

(1) 教育関係

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ① 学内情報システム更新 | ② 入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」 |
| ③ 超高精度UHR-TOFMS maxis IIシステム一式 | ④ 光学式3次元モーションキャプチャーシステム |
| ⑤ 学部教育充実予算 | ⑥ 新自修寮・新体育寮機器備品他 |
| ⑦ 新公認室内プール（仮称）機器備品他 | ⑧ グローバル人材育成推進事業費 |
| ⑨ 福大生ステップアッププログラム経費 | |

(2) 研究関係

- ① 基盤研究機関研究所（福岡・東アジア・地域共生研究所他9研究所）
- ② 産学官連携研究機関研究所（資源循環・環境制御システム研究所他9研究所）

(3) メディカル部門

- | | |
|----------------|------------------------|
| ① 福岡大学病院 | |
| ・ 第2リニアック装置 | ・ 胸部血管造影装置、一般撮影装置 |
| ② 筑紫病院 | |
| ・ バイプレーン血管造影装置 | |
| ③ 西新病院 | |
| ・ 超音波診断装置 | ・ セントラルモニター8人用、モニター送信機 |

(4) 附属高等学校・中学校部門

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 大濠高等学校・中学校 | |
| ・ 教職員用ノートパソコン更新一式 | ・ 電子黒板システム一式 |
| ② 若葉高等学校 | |
| ・ 壁掛けプロジェクター一式他 | ・ 車両（中型バス） |

(5) 施設関係

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ① 土地（自修寮北側隣接地） | ② 新公認室内プール（仮称）新築工事 |
| ③ 自修寮新築工事 | ④ 体育寮新築工事 |
| ⑤ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事
実施設計業務委託 | ⑥ 衛生工学実験室耐震改修工事 |
| ⑦ 水理衛生工学実験室耐震改修工事 | ⑧ 文系センター高層棟西側各階トイレ改修工事 |
| ⑨ 5号館エレベーター設置他工事 | ⑩ 文系学部棟（仮称）新築工事 |
| ⑪ 福岡大学病院新本館（仮称）
新築工事に伴う設備盛替工事 | ⑫ 福岡大学病院新本館（仮称）
新築工事に伴う護岸撤去他工事 |
| ⑬ 附属大濠高等学校・中学校第1グラウンド
人工芝張替工事 | ⑭ 福岡大学病院本館2階TAVI装置新設に伴う付帯工事 |

(6) 学長裁量経費

【学校法人会計の豆知識】

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われています。また、従来の消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入れ前の収支差額も、表示されるようになりました。
- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。